

令和7年度第1回特別支援学校における医療的ケア運営協議会（概要）

実施日 令和7年7月18日（金） 13時30分～14時40分

特別支援教育課

1 開会

2 あいさつ

3 協議

（1）特別支援学校 学校体制による人工呼吸器を使用している児童生徒への対応ガイドラインについて

① 書類様式の統一と運用ルールの確定

- ・様式3号の統一化により、保護者・学校双方の負担軽減を図る。。
- ・委員からは「記入しやすくなった」「保護者が迷わず記入できる」と好評な意見がある一方で、手順や実施記録の簡略化についてはさらに図っていくべきとの指摘もあり、今後の改善課題。

② ガイドライン短縮実施とモデル事例の検討

- ・前籍の学校において、保護者付添いなしで通学していた児童生徒の特別支援学校入学に際し、ガイドラインの前倒し実施を試行。
- ・モデル校においては入学から4か月で完全実施に至るも、入学前からの前籍校との連携体制の構築や、それに伴う書類作成等、課題が挙げられている。
- ・委員からは「早期の母子分離に有効」「保護者負担軽減に寄与」と評価の声が挙げられている。
- ・今後、同様のケースで進めていく場合には、市町村との連携強化、教育相談の早期開始、情報共有体制の整備が必要との意見。

③ 保護者支援と情報提供の仕組み

- ・ガイドラインに基づく5項目の説明内容は概ね妥当との意見多数。
- ・保護者への説明の際に、学校看護師の同席や、保護者の不安を丁寧に聞き取る姿勢が重要との指摘。
- ・地域での医療的ケア体制の違いや児童生徒の体調変化に対する対応の変更についてなど、保護者への理解を図るための説明に一層力を入れていく。

（2）その他

- 次回本委員会 令和8年2月26日（木）に開催予定。

4 閉会